

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州地酒のアンバサダー養成とブランディング基盤整備事業
事業主体 (連絡先)	長野県酒造組合 若葉会 長野県長野市栗田字西番場 205-6 電話 026-227-3133
事業区分	3 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,540,000 円 (うち支援金 : 1,155,000 円)

## 事業内容

- ・1970年にまとめられた『信州の酒の歴史』を、3年計画で、活用しやすい形に再編纂し、電子データ化する。
- ・この資料を基に、県民に広く長野県の地酒について知っていただくためのセミナー動画を制作し YouTube に専用チャンネルを設置し、ここにアーカイブ公開する。
- ・松本調理師製菓師専門学校、及び信州大学(松本キャンパス)において日本酒講座を開講する。若年層の内に伝統的な日本酒造り・発酵文化に関心をもってもらう事を目的とする。さらに酒蔵インターンシップへの参加に繋げ、酒造りの現場を直に見て体験してもらう。



セミナー動画(上)とインターンシップ(下)

## 事業効果

- ・令和3年度(1年目)に制作した「日本酒昔ばなし」を含め、令和4年度制作のセミナー動画3本を YouTube に設定した専門チャンネル『信州の酒の歴史』に公開し、動画コンテンツが充実してきた。これら動画は誰が見てもわかりやすく、酒造組合が“長野県が日本酒の銘醸地”であることを PR していくための効果的なツールとして、今後の活用期待できる。
- ・1年目の令和3年度では叶わなかった松本調理師製菓師専門学校及び信州大学からのインターンシップが、2年目の令和4年度では2回実施し、15名の学生を受け入れることができた。これを実績として次年度はさらに多くの学生の受け入れを期待したい。

## 【目標・ねらい】

- ① 酒の歴史の整理
- ② 日本酒セミナーの開催
- ③ インターンシップの実施
- ④ PR 活動の基盤づくり

## ※自己評価【B】

## 【理由】

本事業は元気づくり支援金が使え期間で完結する内容ではなく、作成した各コンテンツが酒造組合の資産として末永く活用できる価値のあるものであると考えるため。

## 今後の取り組み

- ・『信州の酒の歴史』再編纂して制作した動画コンテンツの有効活用 (YouTube の専門チャンネル『信州の酒の歴史』にアーカイブ公開中)。
- ・長野県の地酒と伝統的な発酵文化を PR する資料を作成し、酒造組合メンバーが気軽に使用できるようにする。
- ・松本調理師製菓師専門学校での授業の継続と合わせ、信州大学含めインターンシップの受け入れを継続していく。
- ・制作してきた各種コンテンツを酒造組合のホームページにも公開する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある